



中高大連携教育の実施

[今後の方向と目標]

県立大学との緊密な連携のもとに、播磨科学公園都市に附属中学校・附属高等学校を設置し優れた教育研究環境を活用して、科学技術における学術研究の後継者の育成や、国際感覚豊かな創造性溢れる人材の育成を推進する。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

大学との連携授業の実施

[施策の取組]

附属中学校及び附属高等学校において、中高一貫教育として6年間の計画的・継続的な教育活動を展開するとともに、中高と県立大学との連携教育の円滑な実施を図る。

附属高等学校において進路指導部や当該学年との連携を強化し、県立大学への進学が可能な特別推薦入学制度の効果的な運用に努める。

[これまでの主な取組]

兵庫県立大学附属中学校の開校

平成19年4月に開校し、県立大学との連携のもと、附属高等学校との中高一貫教育を行っている。特に、学術・研究機関が集積する播磨科学公園都市の立地環境を生かして数学・理科を重視した教育と少人数教育を行う。

高大連携教育プログラムの推進

附属高等学校では、平成14年度に文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール²⁴の指定を受け、理数系教育のカリキュラムの開発を進めてきた。また、県立人と自然の博物館（自然・環境科学研究所）でのフィールドワーク、大学教員による授業、県立大学の各キャンパスでの課題研究など多彩な高大連携教育を実施する。

中大連携授業の実施

県立大学教員による特別授業や、自然・環境科学研究所や各キャンパスでの実習・体験学習を実施し、向学心の高揚を図るとともに、生徒が進路や生き方・在り方を考える機会を提供する。

特徴的な授業の開催

附属中学校…サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト²⁵（SPP）実施校として、科学技術、理科・数学に対する興味・関心高め、知的研究等の育成に取り組む。

附属高等学校…多彩な国際理解教育やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の成果を活かした理数教育を実施する。平成22年度はサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（SPP）実施校として、科学技術、理科・数学に対する興味・関心を高め、知的研究等の育成に取り組む。

平成21年度：サイエンスツアー「東京研修2008」実施

²⁴ スーパーサイエンスハイスクール……文部科学省が科学技術・理科、数学教育を重点的に行う高等学校を指定し、高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発、大学や研究機関等との効果的な連携方策についての研究を推進する制度。

²⁵ サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト……文部科学省の「次代を担う若者への理数教育の拡充」施策の一環。学校と大学・科学館等の連携により、児童生徒の科学技術、理科・数学（算数）に関する興味・関心と知的探究心等を育成することを目的とする事業。